

住民の避難行動とソフトな対策

長岡技術科学大学 環境・建設系

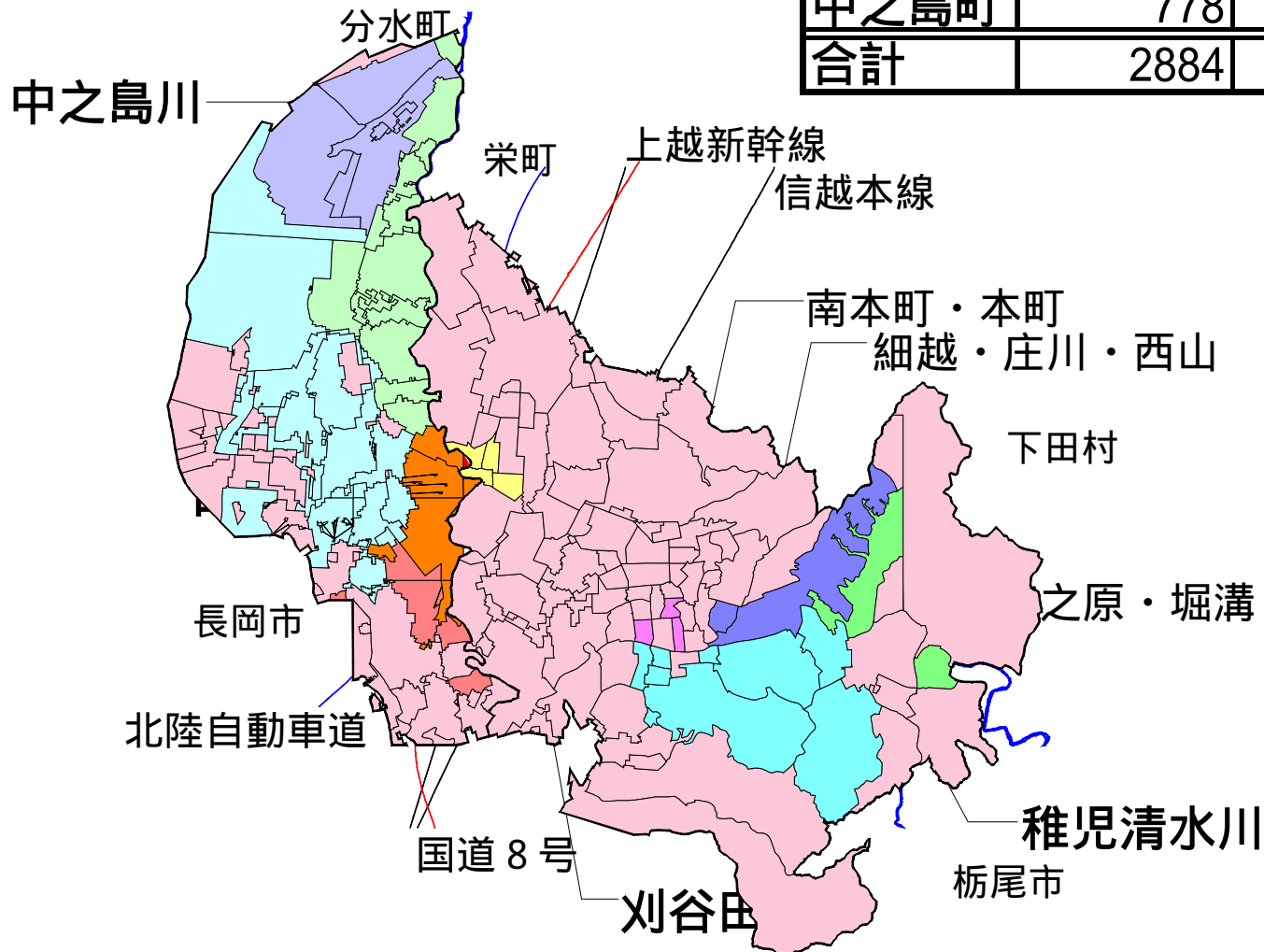
松 本 昌 二

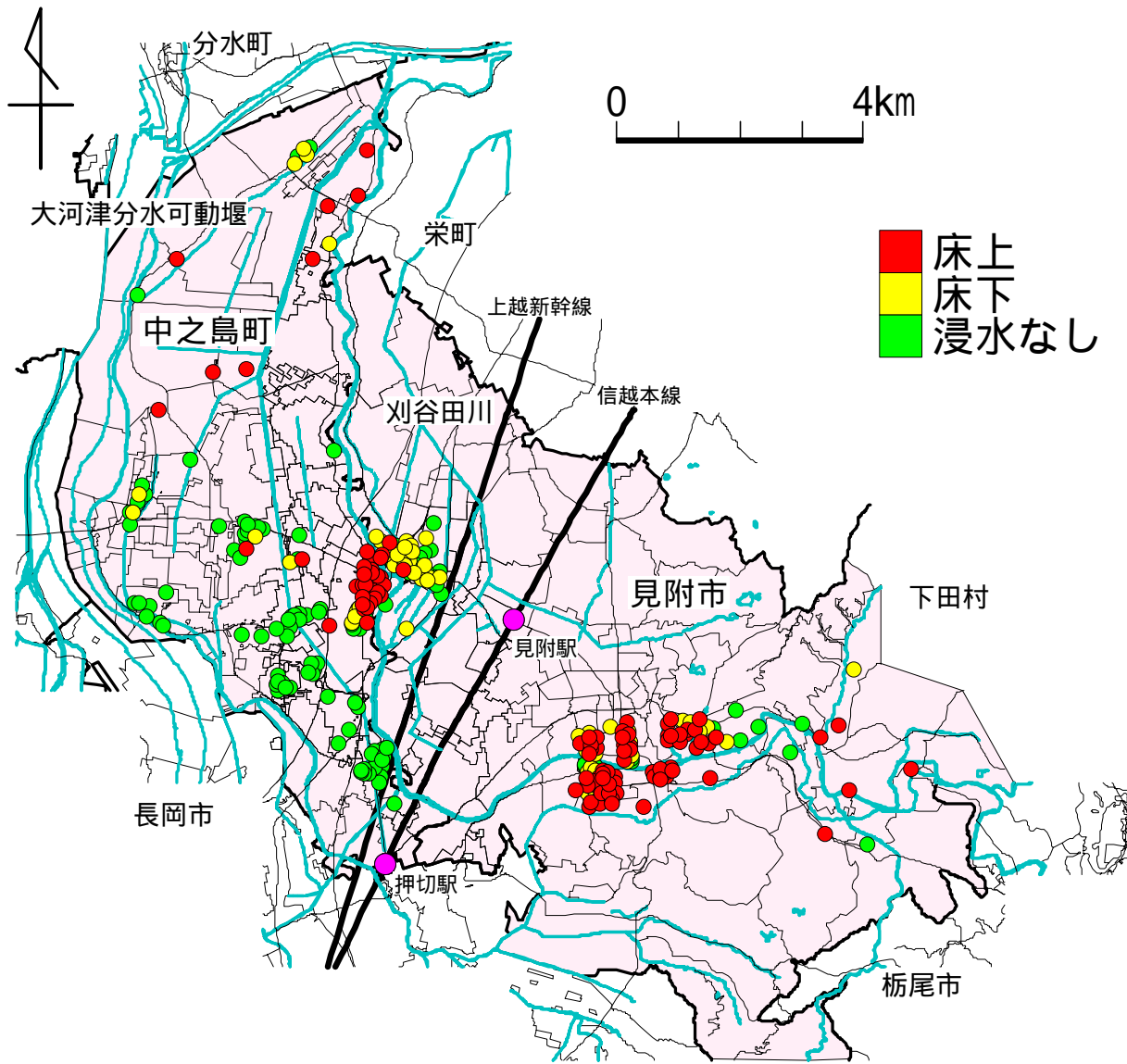
アンケート調査の実施

実施日：平成16年9月4～12日

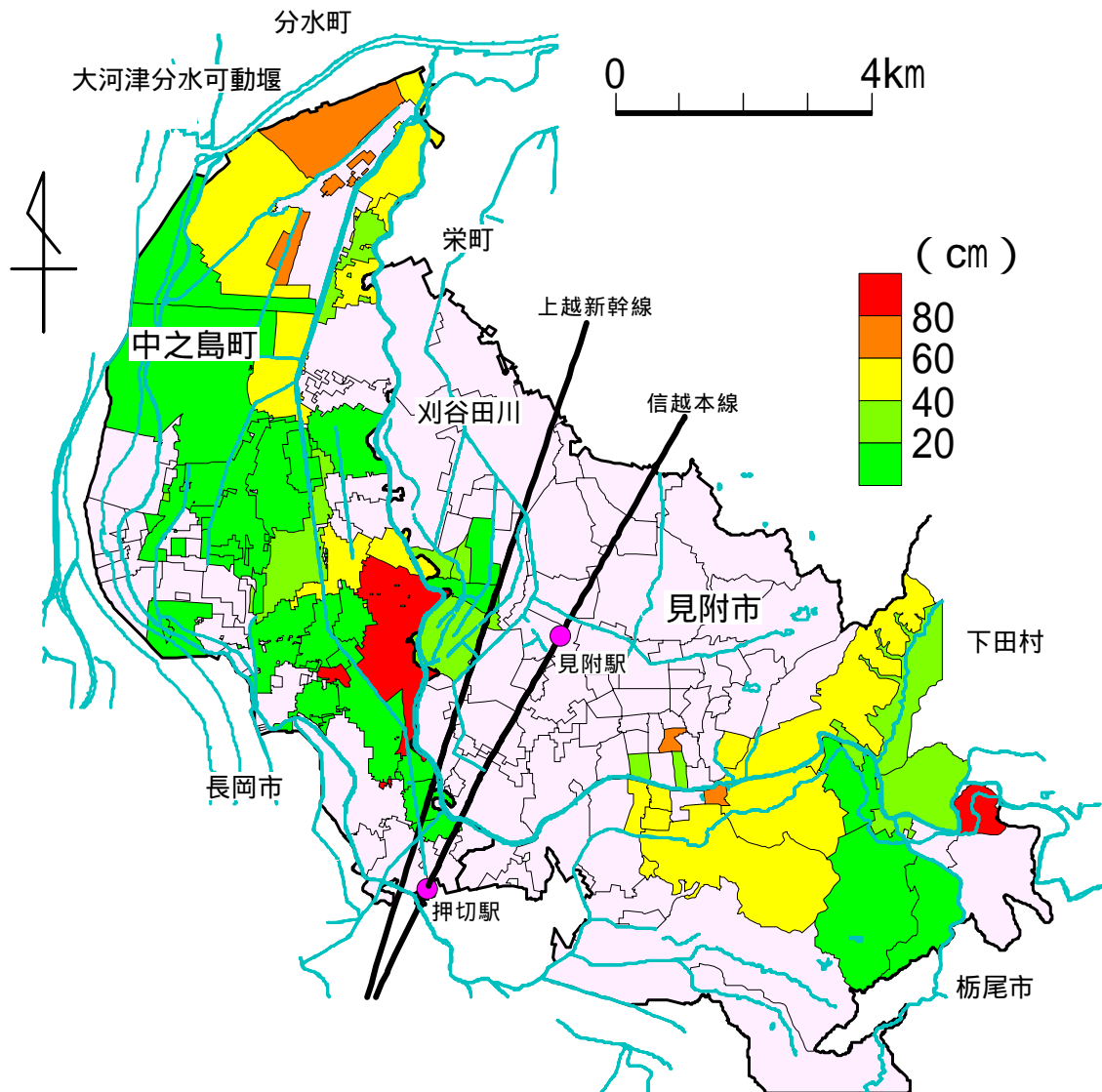
方法：訪問配布・訪問回収

	配布数	回収数	回収率
見附市	2106	1016	48.2%
中之島町	778	534	68.6%
合計	2884	1550	53.7%





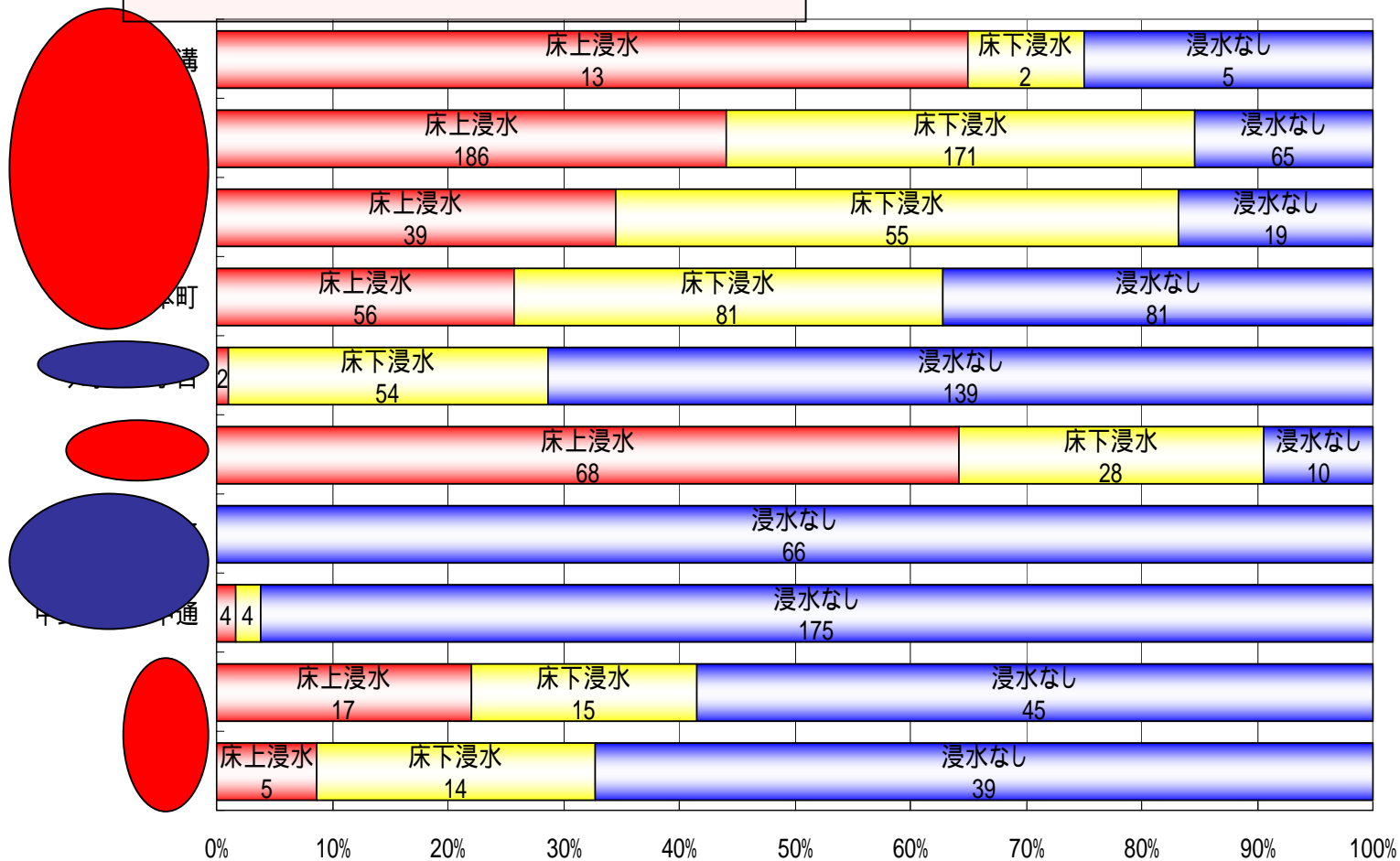
浸水被害世帯の分布



最大浸水深の分布

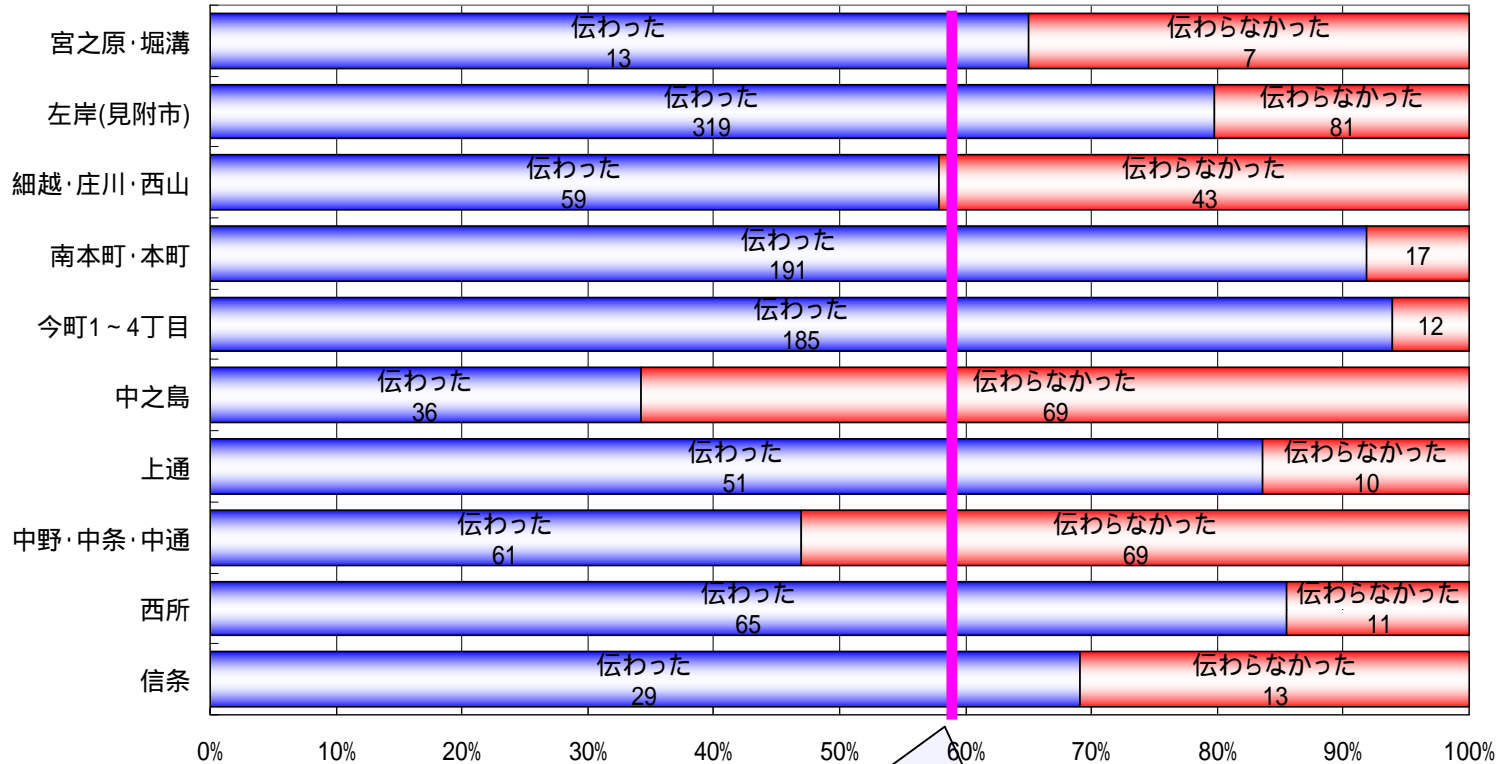
宮之原, 中之島の破堤点付近で
80cmを越える

破堤点付近で浸水被害大



浸水被害の状況

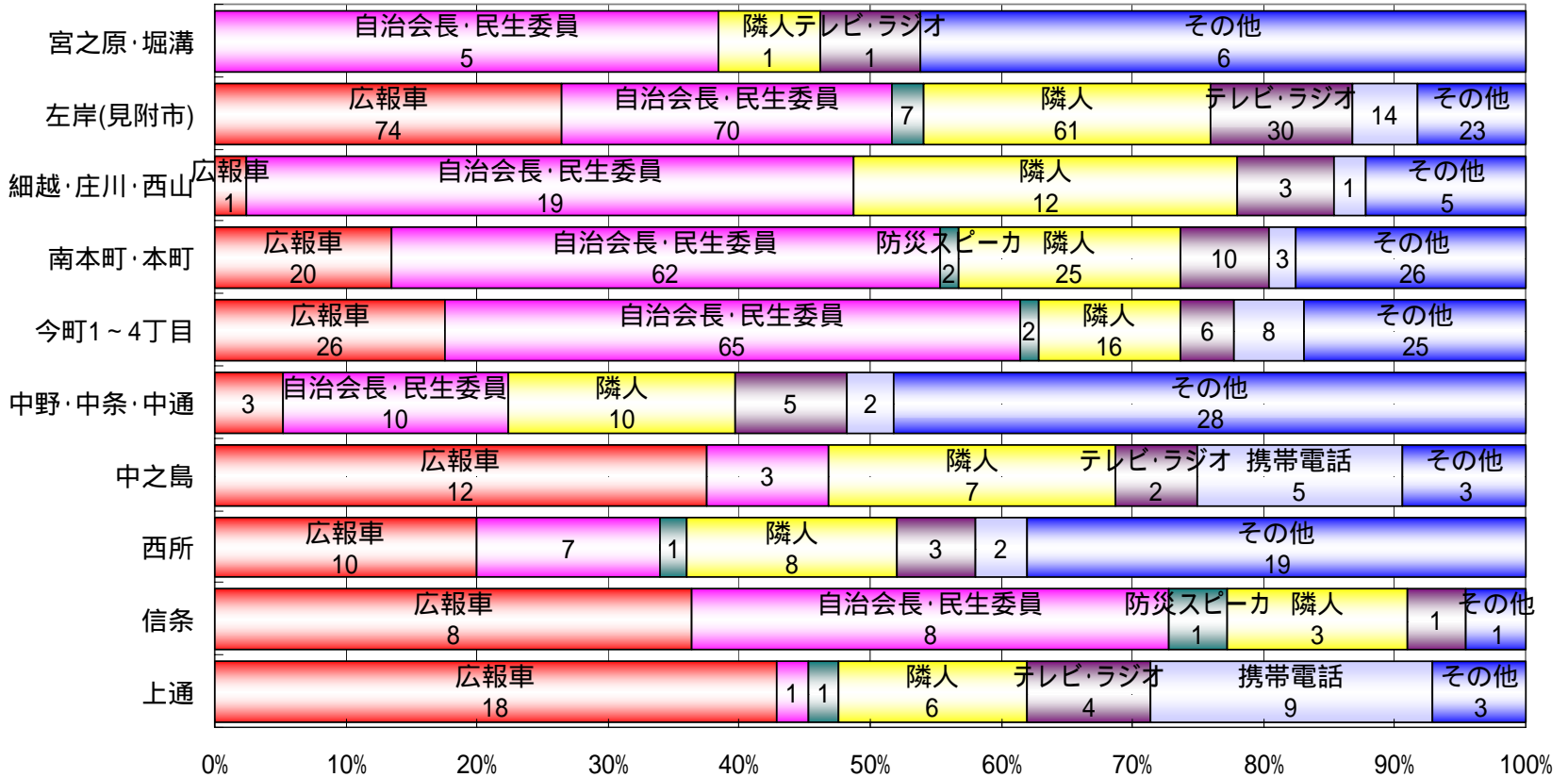
避難勧告は伝わったか



見附市60%以上の世帯に伝わる
中之島34%、中野・中条・中通:47%

避難勧告は伝わったか

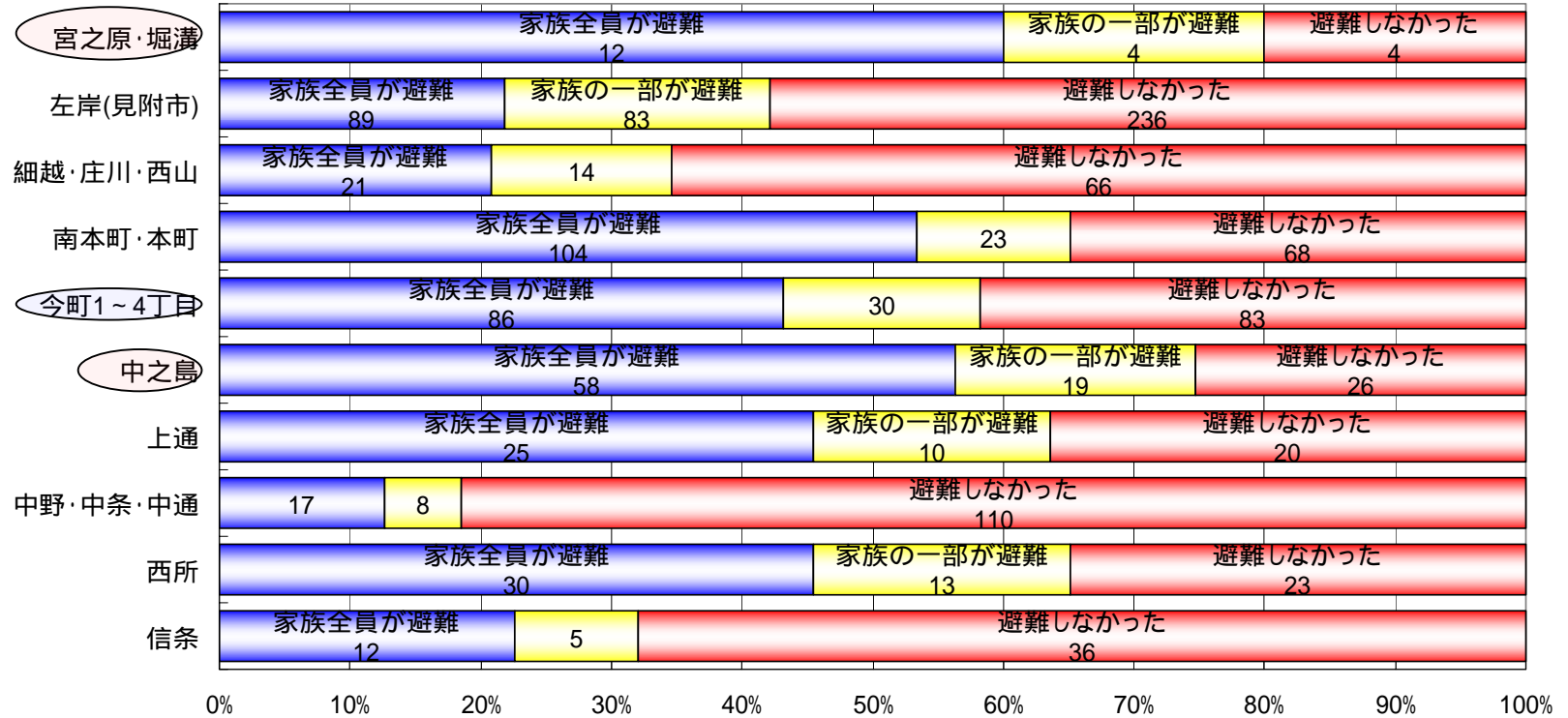
初めて避難勧告を知ったもの



自治会長・民生委員, 広報車, 隣人が多い

初めて避難勧告を知ったメディア

避難形態

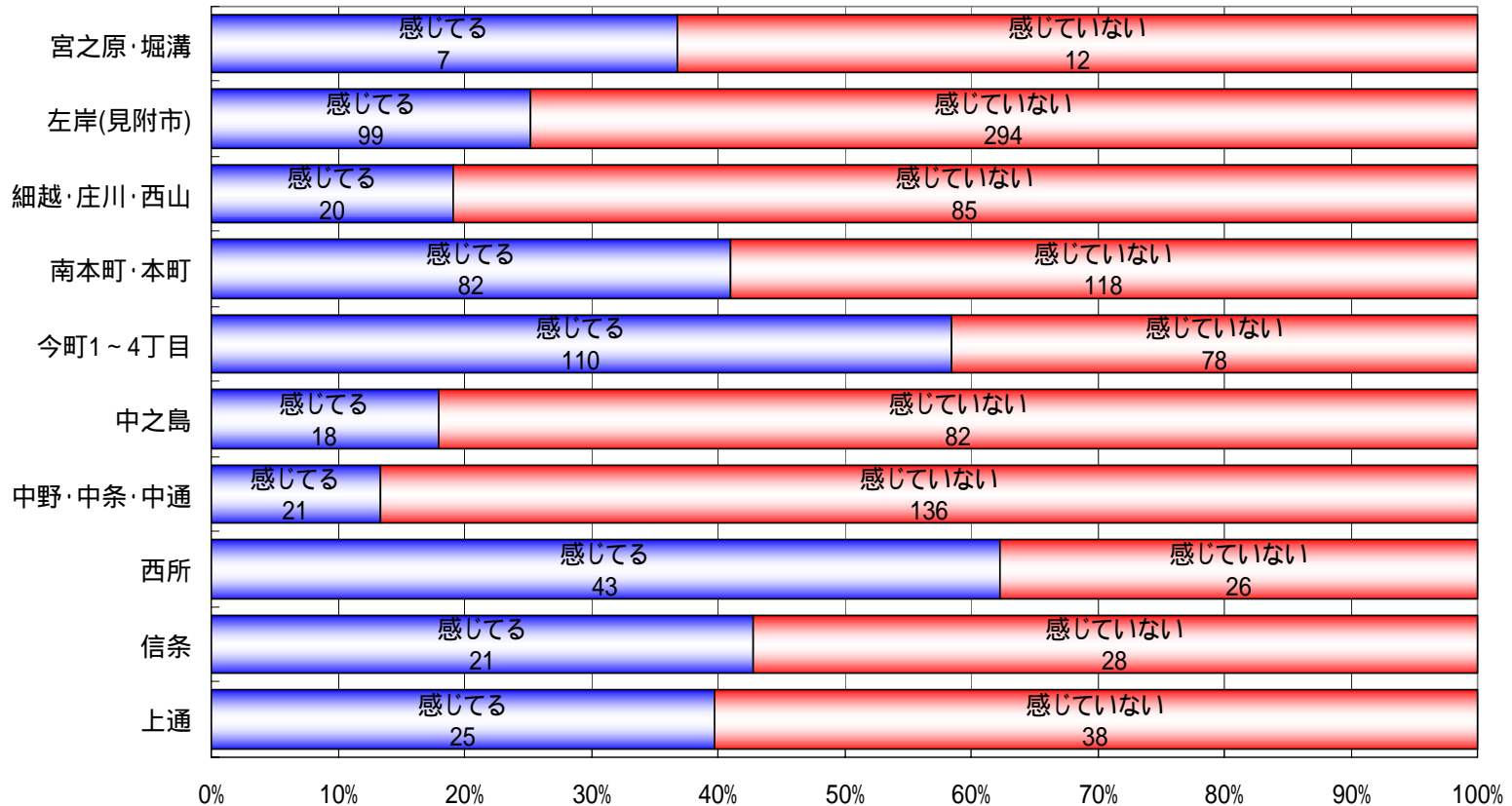


床上浸水の割合が大きい
宮之原・堀溝80%、中之島75%が避難した

床下浸水さえ少なかった今町で、58%が避難した

避難行動の有無と形態

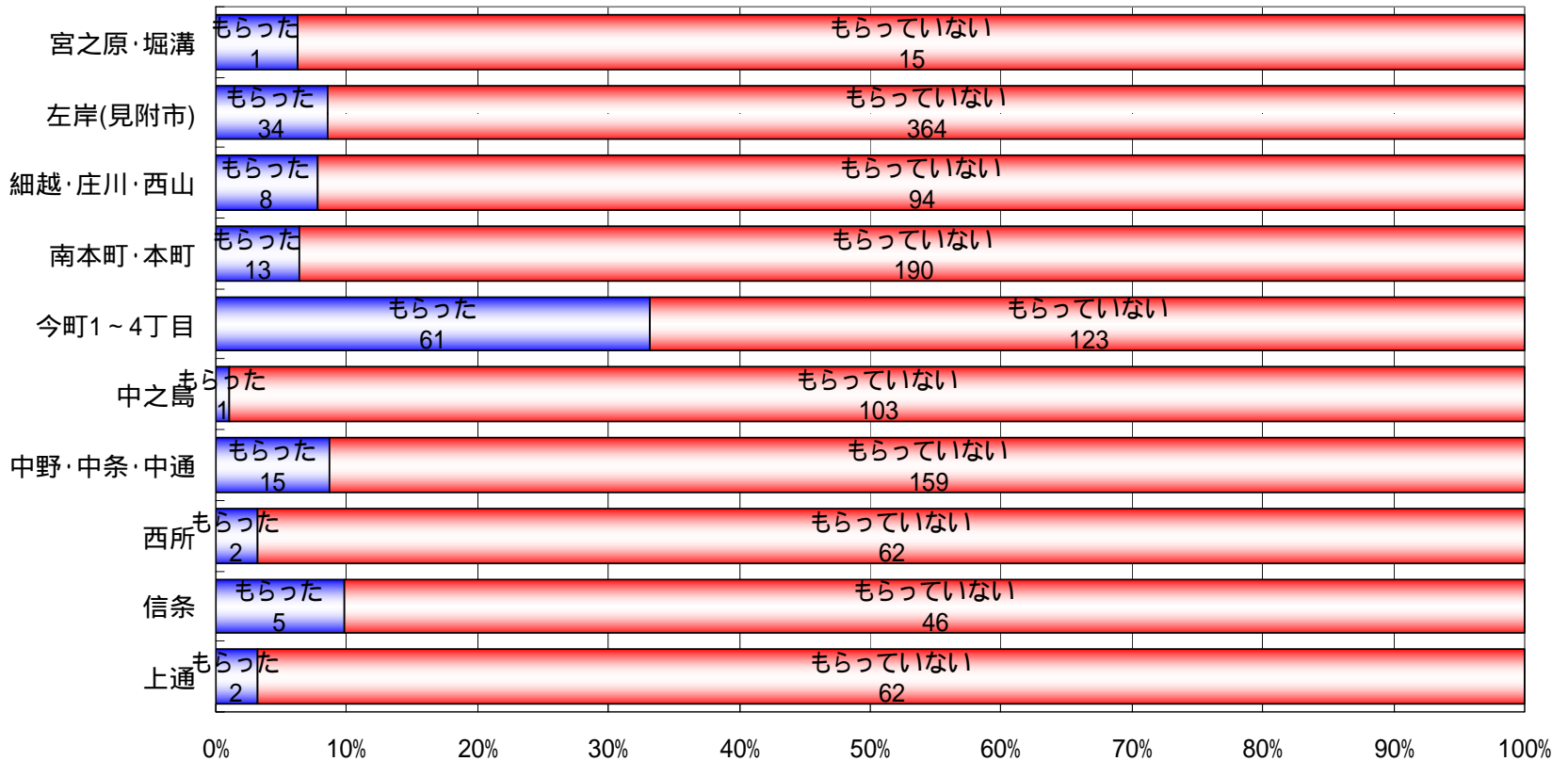
洪水危険性の認識



今町, 西所では, 洪水危険性を感じている世帯が多い

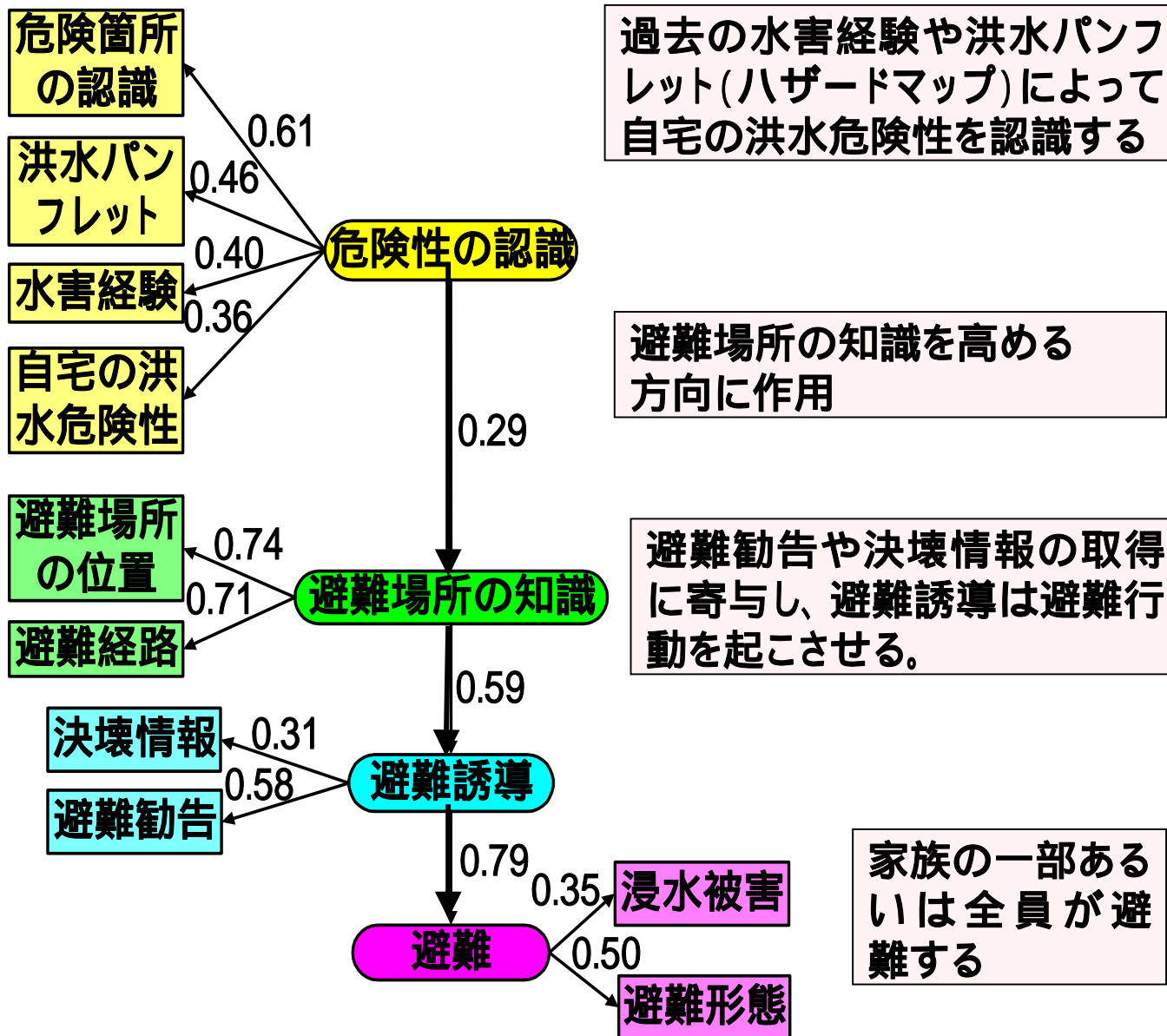
自宅の洪水危険性の認識

洪水パンフレットをもらったか



今町では32%がもらった, その他の地区は10%以下

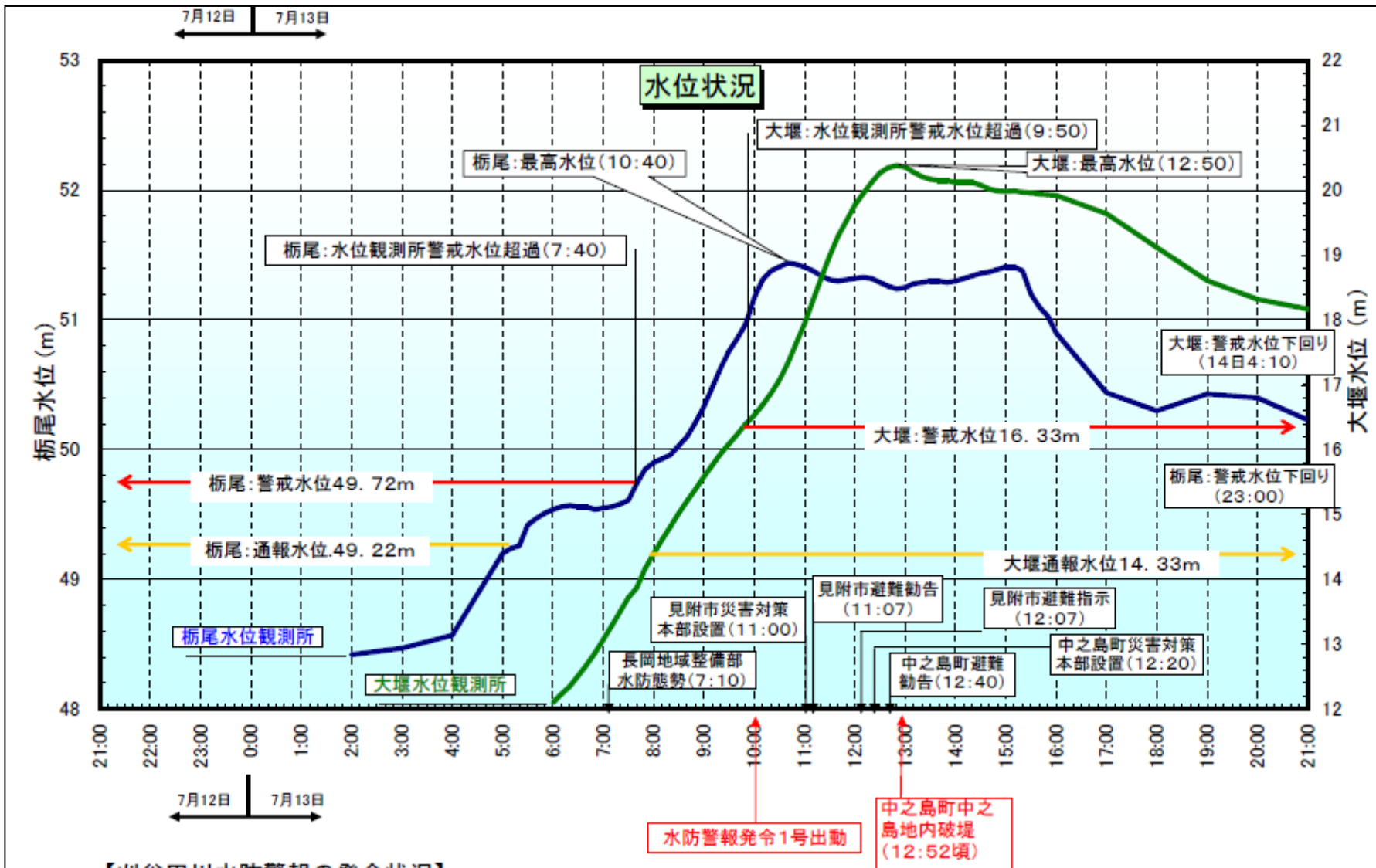
洪水に関するパンフレットをもらったか



避難行動誘引の因果構造(中之島地区を除く)

今後のソフトな水害対策

1. 避難準備, 避難勧告, 避難指示の発令基準
2. 情報伝達体制の多様化・強化
(防災行政無線, FAX, インターネット, その他)
3. 洪水ハザードマップ(避難地図)の作成, 住民周知
4. 平常時における危機管理
 - コミュニティ 形成, 自主防災組織, 避難困難者
 - 個人の危機意識, 防災教育



水害発生と防災体制の経緯